

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年 9 月 28 日

大分県知事 殿



提出者

住 所 大分県中津市耶馬溪町大字宮園 01-16

氏 名

近藤 浩司  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

FAX

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	近藤牧場
事業場の所在地	大分県中津市耶馬溪町大字山移366-7
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	肉用牛 391 頭
③ 従業員数	2 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 自ら堆肥化 動物の死体 処理業者へ委託処理

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長（廃棄物統括責任者兼実務担当者）  
 廃棄物処理方針の決定  
 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認  
 廃棄物処理計画の作成  
 委託契約の締結事務  
 産業廃棄物管理票の交付・管理  
 行政等への各種報告

昨年10月～今年 280項目程度の排出量は増加可。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	2,000 t	3 t
	(これまでに実施した取組) ふん尿は堆肥化し再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	5,100 t	6 t
	(今後実施する予定の取組) ふん尿は堆肥化し再利用		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
動物の糞尿	① 現状	【前年度（27年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,300 t	
		(これまでに実施した取組) ・堆肥化		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,600 t	
		(今後実施する予定の取組) ・堆肥化		
	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	①現状	【前年度（27年度）実績】		
産業廃棄物の種類		動物のふん尿		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t		
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		700 t		
(これまでに実施した取組)				
②計画		【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,500 t		
	(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		動物の死体
	全処理委託量		3 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量		3 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は化製場へ委託し処理		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物の死体
	全処理委託量	6 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	6 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は化製場へ委託し処理	
※事務処理欄		